

第79回広島県高等学校総合体育大会 バasketボールの部



ゲームレポート

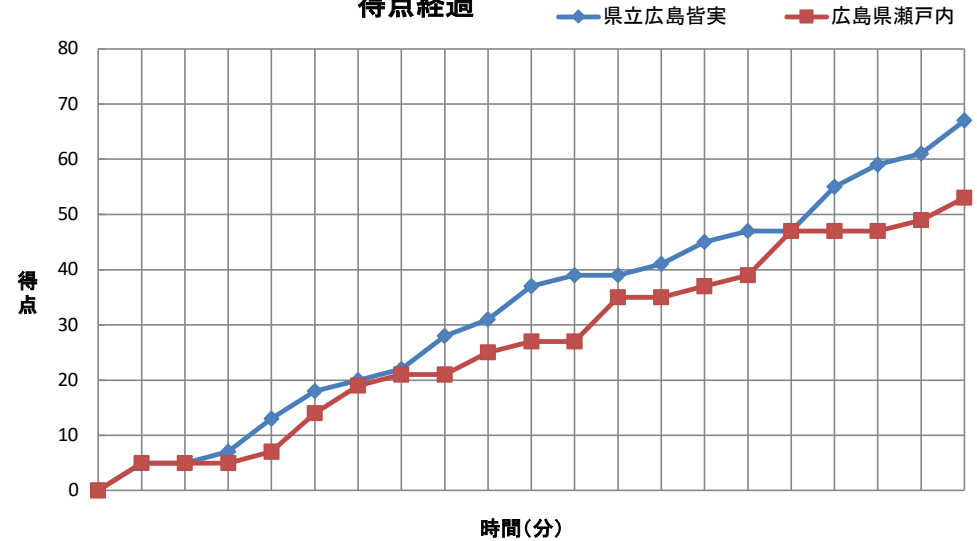
<b>男子</b>	令和8年6月7日	14:30 開始
<b>決勝</b>	広島県立総合体育館	K

◎ 県立広島皆実 (広島県)	67	{	18 19 10 20	—	14 13 12 14	}	53	広島県瀬戸内 (広島県)
----------------------	----	---	----------------------	---	----------------------	---	----	-----------------

番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	立花 怜央	0	0	0	0	3	* 0	マツモト マツダ	4	0	2	0	4
* 5	松本 蓮太郎	12	3	1	1	4	* 7	伊藤 雄飛	2	0	1	0	1
* 6	藤原 佑貴	17	3	4	0	0	10	前田 剛悠貴	4	0	2	0	1
7	渡邊 嘉人	2	0	0	2	1	11	川越 遼大	6	0	1	4	3
* 8	藤本 晴己	12	1	4	1	4	12	藤川 大輝	-	-	-	-	-
9	鎌田 渉	0	0	0	0	0	* 13	早田 勇亀	5	0	2	1	1
* 10	橋本 青空	17	0	5	7	3	* 14	随行 太一	13	0	6	1	0
11	水成 丞	-	-	-	-	-	18	平野 晃成	0	0	0	0	1
12	齊藤 隼真	-	-	-	-	-	24	佐藤 陽斗	-	-	-	-	-
13	小林 愛翔	2	0	1	0	0	33	村田 流星	6	2	0	0	1
14	川越 颯祐	-	-	-	-	-	34	松原 大海	-	-	-	-	-
15	浦島 飛源	-	-	-	-	-	55	秋永 悠真	-	-	-	-	-
16	森 琥太郎	3	1	0	0	2	* 73	竹川 蓮恩	2	0	1	0	1
17	久保 律稀	-	-	-	-	-	77	若林 亮汰	11	2	2	1	0
18	土井 陽大	2	0	1	0	0	78	小杉 芯	-	-	-	-	-
コーチ	横田 学					0	コーチ	川西 英昭					0
Aコーチ	原 未来斗						Aコーチ	山崎 翔太郎					
合計		67	8	16	11	17	合計		53	4	17	7	13

主審: 山住 泰光  
副審: 熊本 裕一朗  
副審: 北川 祐大

得点経過



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	12:12	18:41	31:38	38:44	:	:	:	:
TeamB	8:00	14:42	28:58	33:38	36:24	:	:	:

【戦評】  
スタート 広島皆実#4 #5 #6 #8 #10 瀬戸内#0 #7 #13 #14 #73  
1Q 両チームともマンツーマンからスタート。広島皆実は#8の果敢なドライブ、瀬戸内は#0、#14のpick&rollから流れを掴もうとするが拮抗した展開が続く。広島皆実は#10のドライブからリズムを掴みディフェンスの強度を上げ、1Q残り2分11-5とリードしたところで瀬戸内が前半1回目のタイムアウト。瀬戸内#11のアタックや#14の粘り強いペイントタッチで得点を繋ぐ。瀬戸内はチームファウルによるFTで点差を詰めて18-14、広島皆実リードで第1Q終了。  
2Q 広島皆実#4 #5 #6 #16 #18、瀬戸内#10 #11 #18 #33 #77で2Qスタート。残り7:48、瀬戸内はゾーンプレスからテンポを上げ、#10ドライブで1点差に詰めたところで広島皆実タイムアウト。タイムアウト明け、広島皆実#8、#18のハイローから得点するも瀬戸内#11のドライブから得点し流れを与えない。残り5:18瀬戸内タイムアウト25-21で広島皆実がリード。タイムアウト明け、瀬戸内は#0をコートに戻しゴール下を固めるが、広島皆実#8の魂のルーズボールから#5の3Pシュートが決まりチームを鼓舞する。広島皆実が点差を離す展開になるかと思いきや瀬戸内は#13のジャンパーで食らいつく。追いかける瀬戸内に対し、広島皆実#6オフエンスリバウンドから#8のステップバック3Pが決まり主導権を渡さない。残り1分、広島皆実#6が連続で3Pを決め、37-27で広島皆実10点リードで前半終了。  
3Q 広島皆実#4 #5 #6 #8 #10、瀬戸内#0 #7 #13 #14 #73で3Qスタート。残り8:11、広島皆実#10のアタックから瀬戸内#0がファウル4つ目。しかし瀬戸内#14が冷静にクリエイトし、#77の3P、#13のバスケットカウントのジャンパーが決まり、残り5:32、39-34の4点差とする。お互いミスが続く、一進一退の攻防が続いたが、広島皆実#5の3Pが決まり再び10点差。瀬戸内は#14がpick&rollからジャンパーで得点し再び点差を1桁に戻す。残り1:02瀬戸内タイムアウト。タイムアウト明け、瀬戸内はゾーンプレスが成功し得点するが、広島皆実#6のジャンパーが決まり47-39、広島皆実リードで3Q終了。  
4Q 広島皆実#4 #6 #10 #16 #18、瀬戸内#10 #11 #18 #33 #77で4Qスタート。瀬戸内はゾーンプレスを継続。ターンオーバーを誘い、セットプレーから#33の3Pが連続で決まり2点差。残り8:22、広島皆実タイムアウト。タイムアウト明け、瀬戸内は#10のバックドアが決まり同点。すかさず広島皆実#8が得点し瀬戸内にリードを与えない。追いかける瀬戸内に対し、広島皆実#16の3P、#10のバスケットカウントが決まり6:22瀬戸内タイムアウト、55-47で広島皆実8点リード。タイムアウト明け、追いかける瀬戸内に対し広島皆実#6、#10がディフェンスやリバウンドで奮闘し得点を与えない。残り3:36瀬戸内タイムアウト、59-47で広島皆実リード。瀬戸内はオフボールスクリーンからチャンスを作るがなかなかシュートが決まらない。瀬戸内高校は大応援団の声援を受けながら最後まで懸命にプレーしたが、最後は広島皆実がリードを守り切り67-53で試合終了。  
広島皆実は5年連続26回目のインターハイ出場を決めた。広島皆実には大阪府で開催される全国総体で広島県代表として精一杯戦ってほしい。

戦評: 年藤 健史